

「令和5年度個人情報取扱事務に関する実地調査報告書」が
横浜市個人情報保護審議会会長から市長宛てに提出されました。

個人情報の適正な取扱いを確保するため、横浜市個人情報保護審議会（以下「審議会」。会長 中村 俊規）の部会である横浜市個人情報保護に関する第三者評価委員会（以下「第三者評価委員会」。委員長 加島 保路）では、毎年、横浜市の業務の現場を実地調査し、報告書をまとめています。

令和5年度は、小学校及び中学校における個人情報取扱事務について実地調査を行い、本日、その報告書が市長宛てに提出されました。

今後、市長は、提案された意見に対する措置の結果を審議会に報告する予定です。

【実地調査の概要】

○調査日及び調査対象

小学校及び中学校における個人情報取扱事務

令和5年7月21日（金） A小学校及びB中学校

○調査方法 あらかじめ教育委員会事務局の職員から業務概要資料に基づき説明を受け、当日は、質疑応答を交えながら、個人情報の保管と管理状況等を実地にて調査

【実地調査結果の概況～総評～】

- ・個人情報の取扱いはおおむね適正に行われていたが、一部に改善を要するもの等が見受けられた。
- ・個人情報を含む書類の交付方法及び保管・管理状況、個人情報の漏えい事故を発生させないための取組等について確認することができた。
- ・印刷時の混入対策について改善の必要性があった。また、就学援助に関する書類の提出方法について、紛失等のリスク低減のための提案を行った。

＝調査結果の概要（改善事項等）は裏面参照＝

第三者評価委員会の概要

（第三者評価委員会は、横浜市個人情報の保護に関する条例第10条に基づき、審議会の部会として設置）

主な業務	(1) 実施機関等における個人情報の保護に関し審議会が必要と認める事項についての実地調査及び審議を行う。 (2) 実地調査及び審議を行ったときは、当該実地調査及び審議に係る事項を審議会に報告する。	
委員	◎加島 保路 ※	前東京都国民健康保険団体連合会専務理事
	おおたちめ まさゆき 大立目 雅之	株式会社横浜銀行 リスク管理部コンプライアンス企画グループグループ長
	さいとう ちゅうや 齋藤 宙也	弁護士
	すなかわ よしこ ◎砂川 佳子	公認会計士、税理士 (税理士法人アンサーズトラスト所属)
	てらだ まゆ 寺田 麻佑	国立大学法人一橋大学 ソーシャル・データサイエンス教育研究推進センター教授
	まつ みなこ 松 美奈子	中小企業診断士
◎委員長、○委員長職務代理者、※審議会委員と兼務		

お問合せ先

市民局市民情報課担当課長 前田 博之 Tel 045-671-2319

令和5年度個人情報取扱事務に関する実地調査報告書【概要】

【報告書の内容】

委員会の意見は、(1)評価する事項、(2)改善を求める事項及び(3)提案事項の3種類に分類されている。

1 主な意見

(1) 評価する事項

○ ダブルチェックを効果的に行う工夫（A小学校）

書類のダブルチェックを他の職員に依頼する際、チェックすべき事項等を簡単にまとめたチェックシートを作成し、チェック対象文書と合わせて相手に渡すことで、チェック項目を的確に伝えることができていた。

○ 事務室の書類保管（B中学校）

収納するファイルのうち、作成年度と保存期間が同じものを、書架の同じ段に保管することで、日々の業務においても書類が探しやすく、廃棄の際も誤廃棄リスクが抑えられる有効な取組となっていた。

(2) 改善を求める事項

○ 印刷時の混入対策（共通）

職員室のプリンターは、多くの教職員により共用されているので、印刷物の「取り違え」や「混入」の危険性があった。プリンターには、操作者ごとに出力できる「セキュリティ印刷機能」を搭載したものがあがるが、どちらの学校も利用していなかった。この機能の利用も含め、各校の実情に応じた混入防止対策を講じる必要がある。

(3) 提案事項

○ 就学援助に関する書類の提出方法

就学援助に関する書類は、家庭の経済状況を類推させる秘匿性の高いものだが、横浜市では、保護者が学校を通じて提出している。その過程では、「保護者」、「児童・生徒」、「担任」、「事務職員」と書類の受け渡し段階が複数あるが、児童が介在していることを踏まえると、紛失等のリスクが懸念される。例えば、保護者から教育委員会事務局に郵送させる等、リスクを低減するための工夫を、他都市の例も参考にしつつ検討されたい。

2 まとめ

実地調査を通じ、教職員一人ひとりの尽力が感じられたが、個人情報を保護した上で安定的に業務を遂行するためには、個人情報漏えいリスクを減らせる手法はないか等について組織として検討し、よりよい手法をルールとして定着させることが必要である。

今回、調査を実施した両校についていえば、様々に創意工夫を行った学校運営をしていたのが印象深かった。他にも、様々な工夫を凝らしている学校もあるだろうから、好事例を共有し、学び合うことで、よりよい学校運営につなげていただくことを大いに期待するものである。